

ごしよがわらし 農業委員会 だより

第120号

2025
3/25

編集・発行

五所川原市農業委員会
五所川原市字布屋町41-1
Tel.0173-35-2111 (代表)
農地係 (内線2883・2884)

※農業委員会だよりは
こちらのQRコードから
ご覧いただけます。



～ 青森県の短命県克服のために ～

農業者とグループインタビュー



青森県立保健大学大学院大西基喜特任教授と中堅農業者とグループで自己の健康観について語り合う様子



農業者の日常を伺う大西特任教授



学生が制作した「健やか力」テキスト

2月12日、青森県立保健大学大学院の大西基喜特任教授と40～50歳代の市農業委員8名が、同大学の取り組む「農漁業従事者の実用性の高い健康支援ツール」の開発に向けて、グループインタビューを行いました。この調査は、職業の特性や地域文化の影響により、健康行動への実践に向けた取り組みの重要性が示唆された調査結果に基づき実施されたものです。

冒頭では、同大学の学生たちが制作した『あおり「健やか力」検定テキスト（生活習慣編・疾病編）』の2冊が、インタビューを受ける農業者に配布され、本研究代表者の笠原美香客員研究員が、今回のインタビューの趣旨を説明しました。

その後、大西特任教授がファシリテーターを務め、参加者の自己紹介や年齢、食習慣、運動、嗜好品に関する日常の健康行動や生活習慣について、参加した農業者に順番に質問していただきました。

大西特任教授は「皆さん、健康情報はどこから入手されますか。医学的に正しい健康情報入手するためのアプリなどがあれば活用しますか」などとインタビューしていただきました。

最後に、笠原客員研究員「本日、皆さんからお聞きした意見（効果的な筋トレ方法や塩分に関することなど）をまとめ、皆さんが健康なうちに病気になるためのアプリ等の開発に繋がっていきなさい」と話しました。

農地の貸借方法が変わりました！

これまでの相対による利用権設定の受付は、2月25日をもって終了しました。今後の手続きは、農地中間管理機構を介した貸借か、農地法第3条許可による相対の貸借になります。

機構貸借の窓口はどこ？
3月31日まで農林政策課、4月1日から農業委員会になります。

賃料はどう変わるの？
物納や償還による設定ができず、10aあたり〇万円のように、双方の話し合いで定めた金額（固定の額）となります。

手数料はかかるの？
賃料に対して0.5%の手数料に消費税を加えた金額が、双方にかかります。
(例) 賃料総額10万円の場合、
耕作者は10万円 + (10万円 × 0.5% × 税10%) = 100,550円支払う
所有者は10万円 - (10万円 × 0.5% × 税10%) = 99,450円支払われる

どう支払われるの？
耕作者は11月末までに機構へ支払い、所有者は12月20日頃に機構から口座振込みされます。

【問い合わせ先】 (内線2884・2885)

令和6年度農業経営士、青年農業士、ViCウーマン

当市で新たに農業経営士1名、青年農業士2名、ViC・ウーマン1名が認定されました。皆様のご活躍を期待しています！

農業経営士

青年農業士

ViC・ウーマン



小野 修身さん 川浪 剛項さん 蒔田 祥平さん 白川 美さん

総会の開催予定

○令和7年第5回総会
4月9日(水) 15:00～
市役所2階 B・C会議室

○令和7年第6回総会
5月13日(火) 10:00～
市役所2階 B・C会議室



※過去の議事録はこちらのQRコードからご覧いただけます。

※法令により総会等の会議は公開されております。
また、会議録は農業委員会事務局にて閲覧できます。

【問い合わせ先】農業委員会 (内線2881)

各種申請の締切り日

- ◎農地法第4条・第5条申請
 - ・農地を農地以外のものとして使用する場合
例：住宅・車庫・店舗建築
毎月25日締切り(25日が市役所閉庁日の場合は前開庁日)
 - ◎農地法第3条・農地バンク法第18条申請、競売・公売買受適格証明願
 - ・農地を農地として貸借・売買する場合、競売・公売の入札に参加する場合
毎月25日締切り(25日が市役所閉庁日の場合は前開庁日)
 - ◎あっせん申出
 - ・あっせんにより農地を売買する場合
毎月5日締切り(5日が市役所閉庁日の場合は前開庁日)
- 【問い合わせ先】(内線2884・2885)

農地情報 令和7年3月現在

下記の農地について、受け手を探しています。価格等の条件は交渉できる場合もあります。農地の位置図もありますので興味のある方は、農業委員会までお問い合わせください。



※その他の情報はQRコードからご覧いただけます。

番号	整理番号	区分	農地所在	地目	面積(a)	圃場整備有無	利用状況	10a当たり希望価格
1	377	売買	金木町鎧石	田	30.14	無	休耕田	応相談
2	379	売買	藻川千年	田	5.18	無	苗代	応相談
3	382	売渡貸付	金木町芦野	畑	9.99	無	休耕畑	応相談
4	383	貸付	稲妻開野、稲葉	田	154.14	無	水稲	応相談
5	385	売渡	金木町芦野	畑	10.28	無	休耕畑	応相談
6	391	売渡貸付	毘沙門上熊石	畑	16.15	無	畑	応相談
7	392	売渡貸付	金木町中柏木鎧石	畑	44.95	無	休耕畑	応相談
8	393	売渡貸付	金木町中柏木鎧石	田	36.88	無	飼料作物	応相談
9	394	売渡貸付	豊成田子ノ浦、野里山ノ越	畑	41.33	無	休耕畑	応相談
10	395	売渡貸付	金木町川倉七夕野	畑	106.63	無	休耕畑	応相談

※農地を売りたい方・買いたい方、貸したい方・借りたい方はご相談ください。
【問い合わせ先】(内線2885)

五所川原市賃借料情報

令和6年1月から12月までに締結(公告)された賃貸借における賃借料水準(10a当たり)は、以下のとおりになっています。

田(水稲)の部					
締結(公告)された地域名	平均額(円)	最高額(円)	最低額(円)	データ数	
五所川原地区	基盤整備地域	22,700	52,500	5,000	560
	未整備地域	20,700	45,000	3,000	943
金木地区	基盤整備地域	34,100	75,000	5,000	350
	未整備地域	21,500	48,000	5,000	287
市浦地区	基盤整備地域	20,200	22,500	10,000	36
	未整備地域	16,100	22,500	10,000	16
(参考)五所川原市平均	22,600				

畑(普通畑)の部				
締結(公告)された地域名	平均額(円)	最高額(円)	最低額(円)	データ数
五所川原市全域	13,400	31,300	4,900	41

畑(樹園地・りんご)の部				
締結(公告)された地域名	平均額(円)	最高額(円)	最低額(円)	データ数
五所川原市全域	11,200	20,000	3,100	22

- ※1 データ数は、集計に用いた筆数である。
- ※2 賃借料は物納支給(水稲)としている場合は、60kg当たり15,000円に換算している。
- ※3 金額は算出結果を四捨五入し100円単位としている。
- ※4 平均額は平均値(四捨五入前)をデータ数により加重平均した値である。

農業者年金で安心・豊かな老後を！



農業者年金は、農業者を支えるためのメリットが沢山あります。

- ①家族の保険料も含めて社会保険料控除されます。
- ②厚生年金と同様の「終身年金」です。
- ③65歳以上の年金裁定時に元金割している場合は、マイナス分を補う危険準備金の仕組みが設けられています。
- ④事務経費は国が支出しているのだからありません。



皆さん、農業者年金に加入して、豊かな老後の備えをしませんか。

【問い合わせ先】(内線2882)

農家の皆様へ

令和7年「農作業労働賃金等標準額」のお知らせ

令和7年農作業労働賃金・機械賃借料を下記のとおり設定しました。
農業経営の参考としてお役立てください。

▼農作業労働賃金

作 業 別			金額(円)	備 考
農 作 業 日 雇 賃 金	水 稲	田 植	7,700	1日8時間労働 賄い等は無し 男女同額
		稲 刈	7,700	
		乾 燥 運 搬	7,700	
		脱 穀 調 製	7,700	
		薬 剤 散 布	7,700	
	畑 果 樹	りんご 剪 定	8,000～10,000	
		りんご 受 粉	7,700	
		りんご 摘 果	7,700	
		りんご 袋 掛	7,700	
		りんご 収 穫	7,700	
金	雇 賃 金	選 果 荷 造	7,700	
		薬 剤 散 布	7,700	
		葉 タ バ コ 調 製	7,700	
		一 般 農 作 業	7,700	
		水 田 一 般 作 業	7,700	
賃 借 料	機 械	畑 一 般 作 業	7,700	大型機械オペレーター
		大型機械オペレーター	8,000～10,000	

▼農業用機械賃借料

※金額は消費税込み

農 業 用 機 械 賃 借 料	トラクター	畑 耕 起	5,000(1回掛)	2回掛は双方相談
		田 耕 起	5,000(1回掛)	基盤整備区域外は 双方相談
		田 荒 か き	4,000(2回掛)	
		田 代 か き	5,000(2回掛)	
		荒かき～代かき	8,000	
	コンバイン	耕 起 ～ 代 か き	12,500	10a当たり オペレーター付
		バ イ ン ダ ー	8,500	
		ハ ー ベ ス タ	8,500	
		バ ラ 刈 り	13,000	
		結 束 刈 り	14,000	
	草刈機	麦 刈 り	8,000	基盤整備区域外は 双方相談
		牧 草 刈 り 取 り	3,000(モアー)	
		ブ ラ ウ	3,000	
		サ ブ ソ イ ラ ー	1,000(間隔8m)	
		溝 掘 機	2,500(100m)	
賃 借 料	機 械	レーザレベラー	14,000～20,000	高低差により双方相談
		稲 わ ら 梱 包	300(1梱包)	
		牧 草 梱 包	300(1梱包)	
		田 植 機 (側条田植機は500円増)	10a当たり オペレーター付 5,500	
		スピードスプレーヤー	1,000ℓあたり 5,600	
賃 借 料	機 械	あ ぜ ぬ り 機	1m当たり(片側) 25	薬剤費代は別

- ※1 青森県最低賃金は、令和6年10月5日より時給953円に改定されました。
※2 燃料費の高騰など、著しい経費の変動があった場合には、当事者間で十分に協議して決定してください。

五所川原市農業委員会



スマート農業研修会

1月30日、つがる市松の館において、「令和6年度西北地域スマート農業研修会」が開催されました。これは、西北地域県民局地域農林水産部がスマート農業推進のために開催したものです。

当日は、(株)クボタの藤田強氏からKSAS(※1)の紹介、全国農業協同組合連合会の堅持拓真氏からはザルビオフィールドマネージャー(※2)の利用方法について説明がありました。

また、ヤンマーアグリジャパン(株)の神俊成氏および稲葉進之助氏からは『ザルビオを活用した可変施肥等の取組事例』について紹介があり、参加者たちは各社の技術について、熱心に聞き入っていました。

参加した(株)小野農場代表取締役の小野修身さんは、『これからの時代を見据えたスマート農業に興味があり参加しました。私どもでは既にKSASは導入しています。スマート農業の進歩は著しいのでこれからも新しい技術を取り入れていくために、このような研修会を開催してほしい』と述べました。

- (※1) KSASとは、農業経営を見える化して農業経営課題の解決をサポートする営農サービス支援システムのこと。
(※2) ザルビオフィールドマネージャーとは、栽培方法、品種データ、気象状況などさまざまなデータをAIが解析し、防除など最適な時期を教えてくれるサービスのこと。



お米まつり



1月4日、市内のしきしまコミュニティセンターで、ミニバスケットボールクラブ“五所川原みなみスポーツ少年団”が秋に収穫体験をしたお米を利用し、「お米まつり」を開催しました。

これは、当クラブに所属しているいずみ小学校の境谷尚泰君の父、稔顕さん(尙豊心ファーム取締役)が毎年、自身のほ場で田植え・収穫体験を行っており、その収穫した米で餅やおにぎりを作り、クラブのみんなで味わおうと企画したものです。

稔顕さんは『勝ち負けだけではなく、豊かな心をもって社会に貢献できるような人材に育てて欲しい』と願い実施している』と話し、当クラブの三上一哉監督は『練習ばかりでなく教育的にも餅つきなどの社会的教育も必要だ』と思う』と会の冒頭で挨拶しました。子どもたちは、きなこ餅やあんこをかけた餅を何杯もお代わりし、クラブの仲間と共に楽しんでいました。

今冬の記録的な豪雪による雪害を視察



積雪量が多く、リンゴの枝が手に届くほどに



雪解けによる沈降圧で亀裂が増す

積雪は134cm

昨年末からの記録的な大雪により、市内のリンゴの樹の枝折れや幹割れなどが発生しています。そのため、1月14日に森義博農業委員会会長を筆頭に、農業委員・農地利用最適化推進委員・JA職員・市職員とともに現段階での被害状況の確認を七和地区で実施しました。七和地区は市内でもリンゴ園が多く、同地区の金谷勝議員は、自ら被害状況の確認に同行し、一行とともに視察しました。

当日は、高野・羽野木沢・神山地区各1箇所、前田野目地区2箇所の園地を視察しましたが、降雪量は130cm前後で、多い場所では140cm以上の雪が積もり、どの園地でも主幹折損や主枝折れが見られました。

JAごしょつがるりんご課の宮崎課長は、『“トキ”は特に葉が残りにやすいので雪が積もり被害を受けやすい。雪解けが進むとさらに亀裂が広がるため、下枝周辺の溝切りをし、雪に切れ込みを入れたり、晴天が続く日を選んで融雪促進剤を散布するのが有効だ』と語りました。

剪定講習会開催



1月24日、市農林政策課では農業後継者の育成や農業技術の継承のため、若手生産者を対象にリンゴの樹の剪定講習会を開催しました。講師として佐藤昭浩さんと福士美奈子さんを迎え、若手生産者10名が参加しました。

講習会は経験年数に応じてグループ分けを行い、座学と実技を学びました。

午前は座学で、参加者たちは図入りのテキストで枝の名称、剪定についての講義を受けました。

午後は実技講習を実施し経験年数の浅いグループは基礎的な剪定の技術について学び、経験者のグループでは事前に受付けていた質問内容をもとに、実践を交えながら講師から指導を受けました。

どちらのグループも参加者が実際に実技を行いながら、剪定の知識を深めようと講師の話を熱心に聞いていました。

参加した土岐彰寿さんは『剪定は何度学んでも難しい。剪定の奥義を学ぶため、来年度も講習会を開催してほしい』と感想を述べました。



ドローンで消雪剤散布検証



2月7日、JAごしょつがるとJA全農あおもりは、市内前田野目の斎藤義彦さんのリンゴ園で、ドローンによる消雪剤の散布の検証を実施しました。

当日は、「ハイフミン特号粉粒状」、「ユーミン(3月発売予定)」、および「粒状てんろタンカル」、「粗粒てんろ石灰」、「粒状苦土石灰」の5種類の消雪剤を散布し、その違いを調査しました。

まず「ハイフミン特号粉粒状」を散布しましたが、形状が粉粒状であるため、風で舞ってしまい、ドローンの散布口に多少の目詰まりが見られました。次に「ユーミン」の散布を行いました。雪上に散布された石灰は極わずかでした。

JA全農あomorの職員によると『少量でも効果はあり、費用対効果を考慮する必要がある』とのことでした。検証した結果、石灰の粒の大きさを考慮したり、寒冷のためにバッテリーの保温対策や風対策、オペレーターの移動のために事前に周囲を除雪しなければならないなどの課題が浮き彫りとなりました。

